

平成30年度南国市教育委員会の自己点検・評価シート

自己点検・評価について

教育委員会制度は、首長から独立した合議制の教育委員会が決定する教育行政に関する基本的方針のもと、教育長及び事務局が広範かつ専門的な具体の教育行政事務を執行するものです。

このため、事前に教育委員会が立てた基本方針にそって具体的な教育行政が執行されているかどうかについて、教育委員会自らが事後にチェックする必要性が高いものと考えられます。このようなことから、平成19年6月に公布された、地教行法の一部改正において、教育委員会の行政の執行状況について、点検・評価を実施することが義務づけられました（地教行法第26条）。

また、この点検・評価は、教育行政の基本的な方針の策定等と同様に、教育長に委任せず教育委員会が管理・執行しなければならない事務として位置づけられました（地教行法第25条の2）。

法の趣旨に則り、教育行政の透明性をさらに高めることができるよう、平成20年度から南国市教育委員会の自己点検・評価を実施し、公表を行っています。

平成22年度から教育委員会事務局に幼保支援課が設置され、保育所(園)について所管していましたが、平成28年度からは、市長部局に子育て支援課が新設され、保育所(園)の所管が遷ることとなりました。

平成31年2月

南国市教育委員会

○評価の見方について

教育委員会にとって注目すべき課題を見つけつつ評価をしていくという趣旨で、「小項目」について3段階又は4段階のマトリックスで評価を行いました。

マトリックス評価の例を下に示していますが、「教育委員会の活動及び管理・執行する事務」については(例1)のとおり、「重要度」(横軸)と「実現度」(縦軸)の3段階のマトリックス評価を行っています。

また、「教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」の項目では、南国市事務事業評価に則って(例2)のとおり「重要度」(横軸)と「成果度」(縦軸)の4段階のマトリックス評価を行っています。

①は、「重要だが、実現度が低いもの」であり、②は、「重要だが、成果度が低いもの」であり、ともに「特に注目する課題」ととらえることができます。(色の濃いセルほど注目する課題といえます。)

なお、例3に示しているとおり、必要に応じて評価・点検欄に事業内容や特記事項等を記入しています。

(例1)

↑

実現度

			■
	■	■	■
■	■	■	①

重要度 →

実現度：3段階(「実現できた」、「やや実現できた」、「実現できなかった」)

重要度：3段階(「重要」、「やや重要」、「やや重要でない」)

(例2)

↑

成果度

			■
		■	■
	■	■	■
■	■	■	②

重要度 →

成果度：4段階(「成果は高い」、「成果はやや高い」、「成果はやや低い」、「成果は低い」)

重要度：4段階(「重要度は高い」、「重要度はやや高い」、「重要度はやや低い」、「重要度は低い」)

中項目	小項目	点検・評価	
③子どもの心をたかやす食育の充実	食育フォーラム	成果度 ↑	○2月14日にグレース浜すしにて開催。〇〇〇名の参加があった。 ○お弁当の絵コンテストには、〇〇〇〇枚の応募があり、〇〇点の表彰を行った。 ○講演会は「“弁当の日”がやってきた」(講師：〇〇中学校〇〇〇〇氏)、パネルフォーラムは「食の自立をはぐくむお弁当づくり」をテーマとし行った。 ○南国市の食育の推進につながる講演及びパネルフォーラムの実施ができた。
		■	
		■	
		→重要度	

(例3)

1 教育委員会の活動

中項目	小項目	点検・評価										
(1) 教育委員会の会議の運営改善	①教育委員会会議の開催回数	<table border="1"> <tr><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→重要度</p>			●							<p>○定例会を10回開催した。(平成31年2月1日現在)</p> <p>○臨時会を2回開催した。(平成31年2月1日現在)</p>
			●									
②教育委員会会議の運営上の工夫	<table border="1"> <tr><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→重要度</p>			●							<p>○議案・資料を事前に確認し、積極的な意見交換を行った。</p>	
		●										
(2) 教育委員会と事務局との連携	○教育委員会と事務局との連携	<table border="1"> <tr><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→重要度</p>			●							<p>○定例会での情報・意見交換会の他、適宜情報伝達を行った。</p>
		●										
(3) 教育委員の自己研鑽	○研修会への参加状況	<table border="1"> <tr><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→重要度</p>			●							<p>○土長南国市町村教育委員会連合会の主催する研修会(11/15 視察：南国市立久礼田小学校に参加し、教育事情に関する情報収集を行った。2/1 定期総会及び第2回教育委員研修会講師：京都造形大学教授 本間正人氏に参加し、教育事情に関する情報収集を行った。※7月6日大川村での研修は、悪天候のため中止。</p> <p>○高知県市町村教育委員会連合会及び県教育委員会の主催する研修会 1/11 新任市町村教育委員・教育長合同研修会講師：高知県教育長 伊藤博明氏、高知県商工労働部参事兼産業創造課長 有澤功氏に参加し、教育事情に関する情報収集を行った。</p>
		●										
(4) 学校及び教育施設に対する支援・条件整備	①学校訪問等	<table border="1"> <tr><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→重要度</p>			●							<p>○教育委員による管内保育所(園)・幼稚園及び小中学校の訪問期間：5月9日(水)～6月5日(火)</p> <p>【訪問内容】所長・園長・学校長の学校経営方針(主に学力向上・生徒指導)の確認及び授業参観による教職員ならびに幼児・児童生徒の実態把握等。</p> <p>○運動会・文化祭・研究発表会等に参加し、教職員ならびに幼児・児童生徒の実態把握や成果や課題の把握に努めた。</p> <p>○ブロック塀の改修を、全小中学校で速やかに行った。</p>
		●										

	②所管施設の訪問等	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>実現度↓ →重要度</p>			●							<p>○長岡西部保育所、岡豊保育園、たちばな幼稚園の訪問を行い所属長の経営方針の確認及び職員ならびに幼児の実態把握等を行った。</p> <p>○南国市立スポーツセンター等の所管施設で開催される各種行事等に参加するとともに、施設の状況や利用状況について確認を行った。</p>
		●										

2 教育委員会が管理・執行する事務

中項目	点検・評価										
(1) 委員会の行政重点目標の設定と実施に関すること	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>実現度↓ →重要度</p>			●							<p>○年度当初に教育行政方針を決定し、南国市教育研究大会にて全教職員に方針及び趣旨を伝え、周知徹底を図った。</p>
		●									
(2) 学校その他の教育機関の設置及び廃止に関すること	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>実現度↓ →重要度</p>										<p>○平成30年度はなかった。</p>
(3) 教科用図書採択方針に関すること	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>実現度↓ →重要度</p>			●							<p>○本年度は平成31年度以降に使用する公立小学校教科用図書及び中学校（特別な教科道徳）の採択を行った。（8/8に、臨時教育長会を開催し、採択）</p>
		●									
(4) 研究員及び内地留学生の選考に関すること	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>実現度↓ →重要度</p>			●							<p>○南国市立教育研究に専任主事1名（後免野田小学校より）を、市教委の研究方針と照らし検討、人選し、新たに配置した。</p> <p>○教職員育成のための内地留学生1名（鳴門教育大学）を派遣した。</p>
		●									
(5) 事務局及び学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事に関すること	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>実現度↓ →重要度</p>			●							<p>○南国市立小中学校主任の承認（4月）。</p> <p>○特別支援教育支援員21名を小中学校14校に配置した。</p> <p>○ICT支援員2名を小学校2校（奈路小学校・久礼田小学校）に配置した。</p> <p>○南国市学力課題対応アドバイザー（小学校：国語・中学校：数学）2名と、英語科授業改善アドバイザー1名を学校に配置した。</p>
		●									

<p>(6) 教職員の異動方針に関すること</p>	<p>実現度 <table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p style="text-align: center;">→重要度</p> </p>			●							<p>○高知県教育委員会の異動方針に基づき、学力向上及び特色ある学校づくりに向けた人材配置に努めた。 ○平成31年度の各校の教員人事について、各学校長とヒアリングを実施し、学校長の意向を尊重した人事を検討した。</p>
		●									
<p>(7) 学校その他の教育施設の長期にわたる目的外使用に関すること</p>	<p>実現度 <table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr><td>●</td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p style="text-align: center;">→重要度</p> </p>	●									<p>○設置対象者：高知大学教育研究部自然科学系理学部門。 ○設置場所：南国市立三和小学校 校舎屋上 ○設置機器：超高密度気象観測・情報提供サービス POTEKA ○平成30年4月1日～平成31年3月31日 ○レーダーの雨量評価検証や、豪雨や突風などが発生する際の気象状況の把握のため</p>
●											
<p>(8) 委員会の附属機関の委員の任免に関すること</p>	<p>実現度 <table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p style="text-align: center;">→重要度</p> </p>			●							<p>○南国市奨学金奨学生選考委員会委員の委嘱・任命（4月委嘱・任命 任期2年） ○南国市少年育成センター補導委員の委嘱（5月委嘱 任期2年） ○南国市少年育成センター運営委員の委嘱（5月委嘱 任期1年） ○平成30・31年度南国市障害者教育支援委員会委員の委嘱・任命（平成30年度委員 5月委嘱・任命 任期1年） ○平成30年度中学校教科用図書調査研究委員会の委任（5月委任 任期1年） ○南国市教職員衛生委員会委員の委嘱・任命（5月委嘱・任命 任期1年） ○南国市文化財審議委員会委員の委嘱（5月委嘱 任期2年） ○南国市立図書館協議会委員の委嘱（6月委嘱 任期1年） ○南国市社会教育委員の委嘱（10月委嘱 任期2年）</p>
		●									
<p>(9) 教育予算その他議会の議決を経るべき議案について意見を申し出ること</p>	<p>実現度 <table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p style="text-align: center;">→重要度</p> </p>			●							<p>○平成31年度当初予算編成方針についての確認を行った。（11月）</p>
		●									
<p>(10) 社会教育法(昭和24年法律第207号)第40条の規定による公民館の事業又は行為の停止に関すること</p>	<p>実現度 <table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p style="text-align: center;">→重要度</p> </p>										<p>○平成30年12月現在、該当するものなし</p>

<p>(11) 学齢児童生徒の就学すべき学校の区域を設定し、又はこれを変更すること</p>	<p>実現度 ↓</p> <table border="1" data-bbox="880 76 1030 239"> <tr><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→重要度</p>			●							<p>○大篠小学校校区の児童数急増の緩和と、大篠小学校に隣接する6校の教育のさらなる活性化のため、平成29年度より大篠小学校隣接校選択制度を実施している。</p> <p>○本制度利用者は、平成30年12月31日現在で、平成29年度新入学児11名（当初12名であったが、後日1名取り下げ）、2年生以上の在校生は9名（当初は10名であったが、隣接校区に転居のため）である。平成30年度新入学児が12名、2年生以上の在校生は3名である。平成31年度は新入学児が13名を予定している。</p>
		●									
<p>(12) 教育委員会規則の制定又は改廃を行うこと</p>	<p>実現度 ↓</p> <table border="1" data-bbox="880 379 1030 542"> <tr><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→重要度</p>			●							<p>○南国市社会教育関係団体育成補助金交付規則を廃止する規則について（4月）</p>
		●									

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

(1) 就学前の保育・教育、学校教育に関すること

中項目	小項目	成果度 →重要度	点検・評価																
	幼稚園行事	<table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>								●									<p>○夕涼み会、おいしいちゃん・おばあちゃんの日の集い等、幼稚園で実施した。</p> <p>○地域との積極的な交流を図ることにより、地域に愛される幼稚園作りを推進した。</p>
			●																
	開かれた学校づくり推進委員会	<table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>								●									<p>○各校・園では、開かれた学校づくり推進委員会を設置し、地域に開かれた学校づくりを推進し、2月に活動の集約を行う。</p>
			●																
①市民に信頼される開かれた保育所・保育園・幼稚園・学校経営の推進	学校運営協議会 (奈路小学校・白木谷小学校 ・鳶ヶ池中学校区【H30より】)	<table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>								●									<p>○平成19年度から南国市立奈路小学校を、平成25年度から南国市立白木谷小学校、平成30年度より鳶ヶ池中学校区をコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)として指定している。</p> <p>○目的：学校運営に保護者・地域住民等が一定の権限及び責任を持って参画をする。学校・家庭及び地域社会がそれぞれの役割を果たしながら相互に連携し、一体となった取組を推進することによって、特色のある学校・地域としての活性化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奈路小学校学校運営協議会 第1回(4/12)、第2回(7/12)、第3回(10/4)、第4回(12/13)、第5回(2/7) ・白木谷小学校学校運営協議会 第1回(5/10)、第2回(9/7)、第3回(2/1) ・鳶ヶ池中学校区運営協議会 第1回(11/15)、第2回(1/17)、第3回(2/14)
			●																
	コミュニティスクール推進体制構築事業	<table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>								●									<p>○南国市立奈路小学校、白木谷小学校、鳶ヶ池中学校区をコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)として指定。今後の本市のコミュニティ・スクール取組推進に資するため南国市内の各小中学校区のコミュニティ・スクールのあり方について研修を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度コミュニティ・スクール学習会(1/18) <p>○本市における今後のコミュニティ・スクール推進の取組に資するため、県外の優れたコミュニティ・スクールの先進事例・実践に学んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度コミュニティ・スクール推進体制整備事業にかかる先進地視察(3名)(12/6~7) 京都府南丹市教育委員会・南丹立園部小学校・園部中学校
			●																

	<p>学校評価</p>	<p>成果度 →重要度</p> <table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>				●													<p>○南国市学校評価ガイドラインを校長会で確認し、効果的な取組（PDCA サイクルの確立）を推進し、学校評価を年度末に行っている。 ○南国市保幼小中連携学力向上推進プランの策定に基づき、中項目に、授業改善、規範意識の育成、家庭学習の定着を必須として設定している。 ○昨年度より、『生徒指導』の必須中項目として、「道徳教育の推進」「いじめ・不登校・問題行動等への対応」の2項を位置づけている。 ○各校「評価指標」の記載内容が、あとから「評価」できるものになっているか、何をもちどのように評価をするのかを明確にした。</p>
			●																
	<p>保幼小連絡協議会</p>	<p>成果度 →重要度</p> <table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>				●													<p>○4月「保幼小接続期実践プラン」（南国市補助資料）を各保幼小に配布し定着を図った。 ○5月「保幼小接続期実践プランのポイントについて」をテーマに開催。小学校区を中心とした小集団でアプローチカリキュラムとスタートカリキュラムについてグループ協議を行った。 ○就学前担当・特別支援教育担当の指導主事2名及びスクールソーシャルワーカーで保育所・保育園・幼稚園を訪問し、「年長児の保護者への就学に向けて」の講話をおこなった。その中で、年長児保護者を対象に小学校入学に向けての説明を行った。保幼小の連携をより意識した内容が話された幼稚園・保育所・保育園も増加し、より充実してきた。また、夏季休業中を利用し、保育士体験を実施する小学校も増加した。</p>
			●																
<p>②学力の向上等を図る 保育・教育の充実</p>	<p>南国市幼児教育研究会</p>	<p>成果度 →重要度</p> <table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>				●													<p>○研究会の運営や公開保育の役割分担等について、年間3回の理事会を開催し協議することで、自主的・計画的に研究や実践を進めることができた。 ○幼児教育研究会 公開保育（11/8）長岡西部保育所 ○教育研究大会（2/6）では、長岡西部保育所が実践発表を行った。</p>
			●																
	<p>小中連携学力向上プロジェクト事業 （指定校：管内全小中学校） ※地域アクションプラン補助対象事業</p>	<p>成果度 →重要度</p> <table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>				●													<p>○4 中学校ブロックへの研究指定。（平成20年度より取組、第4期2年目の年度） ○目的：全国学力・学習状況調査結果及び到達度把握検査結果等の分析を基に、ブロックごとの児童生徒の課題を明らかにして小中連携による学力向上対策及び不登校対策・児童虐待予防対策を核とした生徒指導の充実を図る。（PDCAサイクルの確立） ○内容 ①小中連携学力向上推進委員会（校長・教頭の一部を推進委員として） ②小中連携学力向上担当者会（教務・研究主任） ③小学校外国語活動支援等の派遣 ④実践交流会（本年度は中止）等 ○次年度（4期3年目）に向けた実践を焦点化できた。平成31年度は「授業改善」「家庭学習」「あいさつ」「そうじ」の大切さのさらなる確認と、特に国語科の授業改善（読むこと・読み解くこと・書くことに焦点を当てて）をはじめ、「特別支援教育」「防災教育」「道徳教育」「英語教育」を予算対象として、事業を進めることを確認できた。</p>
			●																

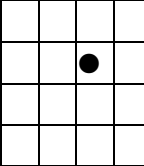
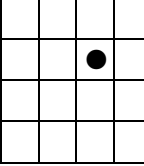
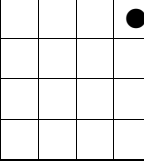
<p>教育課程拠点校事業 (県指定校：大篠小) ※平成28～30年度県指定事業 3期目</p>	<p>成果度 ↓</p> <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→重要度</p>				●													<p>○目的：小学校新学習指導要領に則した算数の教育課程の編成や、実施、評価についての先導的な役割を担う学校づくりの推進。</p> <p>○研究内容 ①算数科の指導方法の工夫改善（授業づくり、教材研究、授業評価の活用） ②学習習慣の確立と学力定着を補完する取組の研究 ③各種学力調査・学力向上の取組における結果分析資料づくり</p> <p>○11/16（金） 大篠小学校教育課程拠点校指定校事業発表会開催。</p>
			●															
<p>中学校組織力向上のための実践研究事業 (香長中3年目、北陵中2年目、 鷹ヶ池中1年目)</p>	<p>成果度 ↓</p> <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→重要度</p>				●													<p>○組織として課題解決に向かう仕組みの見直し、教科主任会の充実（教科会の活性化及び教科主任の相互育成、教科会の充実、若手教員の育成と日常的なOJTの充実）を柱として、香長中学校が3年目、北陵中学校が2年目の取組を実施した。鷹ヶ池中学校は、来年度からの本格実施に向け、他2校の取組を参考に、主幹教諭を中心とした校内研究体制整備を図った。</p> <p>○教科会を週時程のなかに位置づけたことにより、各教員が授業づくり等について協議ができた。学習指導要領に基づいた授業づくりの研究や、各学年の系統的な指導につなげることができた。</p> <p>○同教科の教員が一同に会し、授業づくり等について協議を行うことで、教員による指導のばらつきが少なくなり、授業改善が進んだ。</p> <p>○教科主任が中心になり会をすすめることで、学校組織としての取組が進むとともに、若手教員の育成にもつながった。</p>
			●															
<p>全国学力・学習状況調査 到達度把握・授業評価システム推進事業</p>	<p>成果度 ↓</p> <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→重要度</p>				●													<p>○全国学力・学習状況調査（4月17日実施）調査対象：市内全小学6年生、中学3年生。自校採点の速報版を5月の校長会（5/7）でおろし、各校は速やかな具体の対策を組織的に図った。また、8月30日校長会で、分析結果（最終正式版）を報告した。</p> <p>○到達度把握調査（4月と12月～1月に実施）分析結果を校長会（6/8）にて、教頭会（3月予定）報告した。</p> <p>○全国学力・学習状況調査の分析結果等を踏まえた今後の取組について、特に課題の大きかった学校については指導主事が学校訪問の際等に、1月の高知県学力定着状況調査に向けての具体的なアドバイスを行った。</p> <p>○校長会・教頭会、さらには小中連携学力向上推進委員会や小中連携担当者会で、長年の継続する南国市の課題は、「国語科」であり、教科問わず、問題文など文章を読めていないことが課題であることは周知徹底してきた。</p>
			●															

<p>小・中学校英語担当教員の指導力向上のための研修拠点校事業 (指定校：香南中、協力校：日章小・大湊小)</p>	<table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→重要度</p>								●									<p>○香南中学校を英語教育研修拠点校として指定（2019～2021年の3年間）をし、英語推進教師1名を配置する。英語推進教師は、新学習指導要領（平成29年3月公示）に示された英語教育の実現に向け、香南中学校区内の日章小学校、大湊小学校を中心に連携を図り、小学校英語科の授業づくりの支援を行う。さらに、上記2校以外の市内全11校を1年間で全て訪問し、小学校英語科における授業改善を進めるとともに、市内各校の英語教育の推進体制を構築を図った。</p> <p>さらに、市内英語担当者とも連携を図り、小中学校のつながりを生かした授業改善を図り、その研究の過程や成果の普及を通して、本市の児童生徒の英語によるコミュニケーション能力の育成を図った。</p> <p>○英語推進教師を対象とした資質向上研修を年6回（県主催）開催した。</p> <p>○英語推進教師による公開授業研修会を年間5回開催（5/18・6/22・9/28・11/22・1/29）し、市内はもとより県内へ研究成果の普及を図った。</p> <p>○英語推進教師が、英語通信（Hello, teachers!）を定期的に発行し、市内全小学校の教諭（担任）、各中学校英語科教員に配付をし、英語科における授業づくり等について発信した。</p>
			●															
<p>特別支援学級等専門家活用事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合理的配慮コーディネーター ⇒後免野田小、鳶ヶ池中 ・医療的ケアコーディネーター ⇒大篠小（スクールナース） 	<table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→重要度</p>				●													<p>【合理的配慮コーディネーター】</p> <p>○本年度は小学校、中学校それぞれ一人1校受け持つ（後免野田小学校、鳶ヶ池中学校）とともに、拠点校以外からも校内研や児童の見取りと具体的な指導方法のアドバイスを求めてきた学校へ講師派遣（久礼田小学校・長岡小学校・三和小学校）を行った。</p> <p>○目的：インクルーシブ教育システム構築に向けた特別支援教育を推進していくため、障害のある児童等に対して、その状況に応じて提供する「合理的配慮」の実践事例を蓄積するとともに、適切な「合理的配慮」のための校内体制を整備する。さらに、その中でも、「知的障害特別支援学級」の学級担任の指導力向上を図ること。</p> <p>○後免野田小学校配置のコーディネーターは、昨年度末高知市特別支援学校を退職された方で、5月からの配置となった。鳶ヶ池中学校配置のコーディネーターは、10月からの配置となった。</p> <p>○「合理的配慮コーディネーターの会（合の会）」（9/14、12/20、1/15、2/12、3/11）を開催し、各校での取組の現状把握等情報共有を行うとともに、各校の特別支援教育の充実に向けて、現在課題となっていることの確認をする。</p> <p>※12月に、特別支援教育学校コーディネーターの研修を南国市で行うことができ、その会にも合理的配慮コーディネーターに出席していただけた。来年度は年度当初に行う必要がある。</p> <p>【医療的ケアコーディネーター】</p> <p>○目的：特別な医療的支援が必要な子供が、就学前から卒業後にわたる切れ目ない支援を受けられる体制の整備を推進していくために特別支援教育に関する専門的な知識や技能を持った医療ケアのための看護師を「医療的ケアコーディネーター」として配置した。</p> <p>○医療的ケアコーディネーター（スクールナース）2名を大篠小学校に配置。病弱・身体虚弱特別支援学級入級児童に対する酸素ポンベの定時交換、給食及び緊急時等におけるエビペン使用児童（6名）の対応、養護教諭の業務補助等の職務を遂行している。</p>
			●															

	<p>南国市教育研究会</p>	<p>成果度 →重要度</p> <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>				●													<p>○教育研究会（総会）4/18、教育研究会（教科等）6/13、教育研究会（教科外等）8/22、教育研究大会（教科外等）2/6の、年間4回実施した。 ○研究や実践のまとめとして、第59集「紀要」を3月に発行予定である。 ○南国市教育研究所：研究推進校（岡豊小学校）、研究協力校・園（稲生小学校・十市小学校・大篠小学校・日草小学校）と研究委託を結び、研究推進を図った。</p>
			●																
	<p>学校図書館支援員の配置</p>	<p>成果度 →重要度</p> <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>				●													<p>○臨時的任用職員として各小中学校14校に8名の支援員を配置した。 ○雇用期間：平成30年4月1日～平成31年3月31日 ○業務内容：児童生徒の読書活動の推進及び環境整備等。 ・本年度9月より、「図書館システム りいぶる」より、新図書館システム「探調システム」を変更導入し、バーコード管理の引継ぎに関して学校現場に負担をかけないようにスムーズに移行できた。</p>
			●																
	<p>放課後等学習支援事業</p>	<p>成果度 →重要度</p> <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>				●													<p>○放課後の加力学習を実施できるよう支援員（のべ42人）を派遣し、教職員とともに学力補充を要する学力層を中心に、学力の定着を図ってきた。また、放課後だけでなく、5・6時間目や長期休業中の加力学習にも支援員を派遣し、教職員とともに指導に当たることで、よりきめ細やかな個別支援を行える体制を整えた。 ○今年度も、小学校13校、中学校4校の全小中学校で実施した。</p>
			●																
<p>③心の教育を支える保育・指導の充実</p>	<p>安心・安全な学校プロジェクト （指定校：管内小中学校） ※地域アクションプラン補助対象事業</p>	<p>成果度 →重要度</p> <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>				●													<p>○小中連携での安心・安全な学校作りを推進するために、小学校と中学校のいじめ・不登校対策（積極的な生徒指導）の取組の推進と南海トラフ地震等の防災教育の確立を目指す。 ・Q-Uアンケートの活用、引継ぎシートの活用等の積極的な生徒指導を実施した。 ・不登校等学習支援員4名の配置：香長中学校・鷹ヶ池中学校・北陵中学校・香南中学校の別室登校の生徒への学習支援を行った。 ・生徒会活動の活性化を図るための支援を行っている。南国市児童会生徒会交流会開催（12/8） ・各校学校安全計画及び危機管理マニュアルが、より現実性のある計画等になるよう各校に依頼した。 ○8/19～8/21で南国市岩沼市小中学校交流事業を実施した。児童生徒10名（うち2名は北陵中学校PTAの中から経費）、教職員9名（うち2名は別事業「高知県実践的防災教育推進事業」の中から経費負担）、事務局1名の、合計20名を派遣。8/3南国市役所で事前研修、11/8に市長報告会を、南国市役所にて開催した。 ○7/31、8/1に南国市教職員対象（92名）に、帝塚山大学教授 神澤創 先生によるゲートキーパー養成研修会を行った。また、12/27に南国市教職員対象（50名）に、兵庫県加古川市教育委員会 青少年育成課 教育相談センター 阪中順子 学校支援カウンセラーによるゲートキーパー養成研修会を行った。来年度は、南国市として市民へ広げるためにも、福祉部（保健福祉センター等）と連携した取組を行う。</p>
			●																

<p>南国市人権教育研究大会</p>	<p>成果度 →重要度</p> <table border="1" data-bbox="882 76 1025 240"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> </table>												●	<p>○今年度は台風のため中止。 ○分科会における実践報告は、保育所(園)3本、小学校12本、中学校4本、青年団1本、合計20本あり、報告レポート集を全教職員に配付し情報共有を図った。 ○研修会は、岡田敏之氏(京都教育大学教職キャリア高度化センター)による講演会【演題:「人は何故学ぶのか」～昼と夜の学びを結び実践を通して見えてきたこと～】を行う予定であった。 ○分科会では実践発表をもとに、保幼小中の取組について交流する予定であった。 ○本年度は昨年度と同様、助言者10人を確保。様々な分野からの専門意見を聞く予定であった。</p>
			●											
<p>不登校対応等担当者会</p>	<p>成果度 →重要度</p> <table border="1" data-bbox="882 323 1025 488"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> </table>												●	<p>○不登校対応の中核的な働きをしている小中学校の担当者が一堂に会し、学校相互の不登校対応に関する情報交換を行い、全市的な不登校対応の一層の充実・強化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回5/10:平成29年度末不登校児童生徒の状況報告 ○不登校対応にかかわっての校種間引継ぎについて ・講師:高知県心の教育センター 西森一彰 指導主事 ・第2回8/16:1学期の長欠児童生徒調査結果報告 ○不登校児童生徒にかかわっての担任を含めたチーム支援や夏休みの終わりから明けにかけての支援等について ・講師:高知大学 大学院 岡田倫代 教授 ・第3回11/13:不登校対応にかかわっての小中間引継ぎについて ・講師:島内奈香 スクールカウンセラー ・第4回2/19:引継ぎを目的としたブロック別協議 <p>○参加体制:各学校担当者(代表)、ふれあい教室、教育研究所、市教委(指導係)、SSW ○内容:担当者を集めての研修及び小中連携による情報共有を行う。</p>
			●											
<p>スクールソーシャルワーカー(SSW)活用事業</p>	<p>成果度 →重要度</p> <table border="1" data-bbox="882 818 1025 983"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> </table>												●	<p>○学校だけの対応及び支援では、学校復帰等の改善が図りにくい児童生徒に対して、学校や教職員への支援及び保護者・児童生徒への直接的な支援を行う。(平成20年度から実施) ○加藤SSW(香南中・鷹ヶ池中ブロック)、西山SSW(香長中ブロック)、奥宮SSW(北陵中ブロック)が学校の対応が困難なケースを優先順位をつけながら対応してきた。 ○SSWの対応で、教職員、保護者の安心感につながっている。適応指導教室等の関係機関との連携により、完全不登校から担任と関わり始めるなど、児童生徒に変化が現れている。 ○就学前の子どもたちへの支援として、西山SSWと奥宮SSWに週に2回程度、保育所・幼稚園の保育者や保護者とかかわってもらい、小学校へのつなぎを行っている。また、保健福祉センターやこども相談系などとも連携し、多面的・多角的な支援をしている。</p>
			●											
<p>教育支援センター(ふれあい教室) 旧:適応指導教室</p>	<p>成果度 →重要度</p> <table border="1" data-bbox="882 1206 1025 1370"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> </table>												●	<p>○南国市内に在住する不登校の状態にある児童生徒に対し、主体性を大切に体験学習を通し、「心の居場所」をつくり、集団生活への適応と自立を促すための援助や指導を行う。 ○運営委員会 第1回7/17、第2回2/26(予定) ○連絡会(定期4回) 4/26、7/11、10/9、3/7(予定) ○夏季休業中学校訪問 研究所長と全学校訪問聞きとり ○通室認定児童生徒 小学生4名、中学生4名、計8名。相談は他にもあり。 ○本年度「ふれあい教室(教育支援センター)」の教師用リーフレットとともに、保護者用リーフレットを、ふれあい教室室長と教育研究所所長とともに作成し、2月中に準備を整え、ふれあい教室やその目的・活動内容を広く周知する。</p>
			●											

<p>学校図書館を活用した「読み」を鍛える拠点校事業（H30・31） （県指定校：十市小学校）</p>	<p>成果度 →重要度</p> <table border="1" data-bbox="882 76 1032 240"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>										●											<p>○十市小学校を平成30年度から31年度までの2年間の指定事業。情報を正確に理解し適切に表現する力の育成や言語活動の充実を図るために、学校図書館教育の計画の作成及び図書や新聞の計画的な活用推進、読書活動の推進、図書や新聞の活用を通して言語能力及び情報活用能力を育成する授業の実践に向けて、県教育委員会と連携して指定校に対して本事業の効果的な実施に必要な支援・指導を行う。</p> <p>○指定校が公開授業及び研究発表会を行う際には、管内外に向けて積極的に情報発信を行う。また、管内の教員を対象とした教員研修会の開催やホームページ等を通じて情報発信を行い、取組を積極的に普及する。</p> <p>○県教委等、外部評価委員が指定校を訪問した際に、南国市教育委員会としての取組や成果の報告を行った。（11/26）</p> <p>○読解力を図るテスト（リーディングスキルテスト）の実施（9月初旬）</p> <p>○公開授業（5/23、6/22・27、7/6、10/19・22・24、11/9・14・29、2/12）を行った。</p> <p>○来年度は、本事業の実現を目指した研究・実践の成果が児童の変容として実証される2年目。リーディングスキルテストの結果を分析して「読み」の基礎・基本となる「言葉の係り受け」の理解度を把握するとともに、「聞き方・話し合い方」や「情報の調べ方」の学習訓練などの取組を日常的に積み上げていく必要がある。</p>
				●																		
<p>夢・志を育む学級経営のための実践研究事業（県指定校：長岡小）</p>	<p>成果度 →重要度</p> <table border="1" data-bbox="882 722 1032 887"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>										●											<p>○平成29年度より2年間の指定事業で、児童生徒の自己指導能力を育成するため、学校行事や児童会活動を充実させ、児童生徒の自治活動等を活性化するとともに、学級での話し合い活動や主体的に活躍できる場を充実させる等、自尊感情、自己有用感を育む「開発的な生徒指導の視点」を位置付けた教育活動を組織的に展開することで、チームによる学級、学校運営を実現する。また、実践成果等を県内へ普及する。</p> <p>○実践研究事業（年間10回）5/21・24、7/5、8/27、10/11・12、11/5・15、1/29【公開授業研修会】</p> <p>○本年度で指定事業としては終わりだが、今までに長岡小学校が事業として取り組んできた「特別支援教育」を土台とし、その上に「授業改善」と「学級活動」を両輪として、より質の高い授業を求め、児童の学力の向上を図っていくことを3年目の方向性として、県教委とも確認済みである。</p>
				●																		
<p>わがまちの道徳教育推進事業 （指定校：管内小中学校）</p>	<p>成果度 →重要度</p> <table border="1" data-bbox="882 1145 1032 1310"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>										●											<p>○研究テーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい学習指導要領が目指す「社会に開かれた教育課程」の実現を目指し、市町村教育委員会が主体となって地域ぐるみの道徳教育を推進することにより、児童生徒の道徳性を高める。また、道徳推進リーダーの活用や大学等との連携を通して、全ての学校において「考え、議論する道徳」が実践されるよう、授業の質的変換を図る。 <p>○取組項目</p> <ol style="list-style-type: none"> ①道徳教育推進協議会の開催・大学教授等、講師研招聘しての公開授業（年5回） ・4/18、6/8・12、8/20・22、10/1、11/7、12/2・13、2/18 ②新学習指導要領の趣旨を踏まえた各種計画の作成や授業方法及び評価の研究を行い、改訂版「高知の道徳」を用いて、家庭での活用を促進する。
				●																		

	<p>食育推進事業</p>	<p>成果度  →重要度</p>	<p>○南国市食育推進計画（行動計画）に基づき、各校の特色ある食育を推進する。 ○食の自立をテーマに、高学年においては、「お弁当づくり」を実施している。</p>
	<p>米作り親子セミナー</p>	<p>成果度  →重要度</p>	<p>○農業体験を通して、景観・環境保全を含めた棚田での稲作農業の位置づけと重要性について学習するとともに、学校給食米の生産現場を親子で確認して生産農家との交流を通じて農業と食育への理解を深める。今年度は大湊小5年生、日章小6年生を対象に行った。 ○場所：上倉学習田 内容：田植え体験5/31、稲刈り10/3 ○参加校：田植え体験 大湊小5年生、日章小6年生、保護者 稲刈り体験 大湊小5年生、日章小6年生、保護者 ○米作り親子セミナー収穫祭：大湊小学校・日章小学校で3月に実施予定である。収穫したお米と、家庭科の「米とみそ」の学習を合わせての調理実習を行い、おにぎりパーティ等実施し、米作りの学習の成果の発表も行う。 ○次年度は、JAの統合を受けて、来年度の実施に向けて、早急に確認をしていく必要がある。</p>
<p>④健康で豊かな生活を拓く保育・教育の充実</p>	<p>実践的防災教育推進指定事業 （指定校：後免野田小） ※平成30・31年度県指定事業 （指定校：久礼田小） ※平成29・30年度県指定事業</p>	<p>成果度  →重要度</p>	<p>○目的：保育所、小学校、中学校が連携し、災害発生時に子ども自身が主体的に安全を確保するための判断力や行動力を育成するための指導方法の研究開発を行う。また公開授業、研究発表会、講演会を通して、実践的防災教育の普及や啓発活動を進める。 ○内容 ①地域や関係機関との連携防災実践委員会の開催（年間3回）。 ②防災意識アンケートの実施（年間2回）。 ③効果的な避難訓練の実施（様々な場面や状況を想定して複数回実施【8～10回】）。 ④防災年間計画及び防災マニュアルの見直し。 ⑤指導方法の開発・普及 ・高知県安全教育プログラムを活用した防災の授業の実施。10月までに、低中高学年全てで、防災学習授業研を行った。 ○実践的防災教育推進事業の研究発表会（久礼田小学校11/15（木）授業研・講演会）を行い、四国地質調査業協会嘉茂美佐子様から、「防災マップ作りから見る、地域の安全対策」題して講演会を実施した。 ○実践的防災教育推進事業の研究発表会（後免野田小学校12/1（土）授業研・講演会）を行い、文部科学省安全教育調査官吉門直子様から、「生き抜く力を育む これからの防災教育」と題して講演会を実施した。</p>

<p>高知県安全教育推進事業</p> <p>(指定校：平成30年度国府小)</p>	<p>成果度</p> <table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→重要度</p>												●					<p>○目的：拠点校における学校安全に関する取組を、南国市内に普及させるとともに、各校に安全教育を推進する中核教員を位置付け、学校安全の取組を推進していくこととする。</p> <p>○児童の登下校を見守る学校安全ボランティア（スクールガード）組織と連携した活動を充実させ、登下校時を含めた児童の安全を確保するシステムを構築するとともに、「高知県安全教育プログラム」に基づいた授業を実施することで、子どもたちが身の回りの危険を予測し、自ら危険を回避する力、自分の命は自分で守り、安全に行動できる児童の育成を図る。</p> <p>○自助・他助の観点から日常の安全確保についてシステムを構築するとともに、学校における安全教育・安全管理の徹底に向けた取組を推進する。また、地域および校区内の幼稚園・小中学校・各家庭とも連携・協働を図りながら、登下校時を含めた日常的な学校の安全体制の強化を図り、持続可能な安全体制の構築を図ることを目的に事業を実施した。</p> <p>○校区内の幼稚園・小・中学校と連携を図りながら、第4学年を中心に取組を実施した。</p> <p>○7/2には、大阪教育大学 准教授 後藤健介氏を招聘し、校区の安全マップづくりの講習会を実施し、各関係機関、地域と連携し、校区安全マップを作成した。</p> <p>○11/24には校内学習発表会で、保護者や地域に安全マップを披露するとともに、取組報告を行い、発信を行った。</p>																
			●																															
<p>⑤子ども一人一人を大切に する特別支援教育の充実</p>	<p>特別支援保育・教育推進事業</p> <p>成果度</p> <table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→重要度</p> <p>成果度</p> <table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→重要度</p>												●								●													<p>○今年度、担当として、保育園・所等を訪問し、幼児の見取りを行い記録簿も残し、さらに、情報共有も行ったが、就学指導（教育相談）に提供された情報を活用していく親育ち・特別支援保育コーディネーターを配置することができなかった。誰でもができることではなく、その点で人材確保が難しかった。</p> <p>○次年度に向けて、子育て支援課とも連携しながら、早期に人材確保に努める。</p> <p>○対象：管内の平成31年度就学予定者の幼児および小中学校の児童生徒。</p> <p>○目的：実態に応じた適切な就学支援および教育支援を行う。</p> <p>○内容：①所属長会（構成メンバー保育所長・幼稚園長・学校長）で活動内容や計画を伝え、就学指導の目的と協力要請を行う。</p> <p>②教育支援委員会では、南国市障害者教育支援委員会規則第4条の規定に基づき委員の委嘱等を行い、本年度は下記の期日に、教育支援委員会を開催した。今年度も保健師もオブザーバーとして参加。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回教育支援委員会（8/31） ・第2回教育支援委員会（10/26） ・第3回教育支援委員会（1/25）約40名（前年度約40名）判定。 <p>○方法：所長・園長との連携 → 保護者等と面談 → 教育相談（各種検査・聞き取り）の実施 → 保護者への結果説明と意思確認 → 教育支援委員会での判定と助言 → 保護者との最終面談（最終意向確認） → 特別支援学級入級への編制計画の作成。</p> <p>○本年度教育支援委員会において、課題として「制度にはまらない（特別支援学校、学級入級の対象とならない）児童生徒の支援体制を南国市としてどうしていくのか」を示唆され</p>
			●																															
			●																															

			<p>た。事務局としても次年度は「判断・審議」の3回は勿論のこと、2回ほど別に教育支援委員会を開催し、課題として示唆された内容について検討していく必要がある。</p>																				
<p>特別支援教育支援員の配置</p>	<p>成果度</p> <table border="1" data-bbox="882 188 1032 357"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→重要度</p>					●																	<p>○南国市立幼稚園および小中学校に在籍する発達障害（学習障害〈LD〉、注意欠陥/多動性障害〈ADHD〉、高機能自閉症など）等、学習や生活において教育上特別な個別の支援を必要とする児童生徒に対して、担任と共にサポートするための特別支援教育支援員の配置。</p> <p>○管内小中学校14校に21名配置（平成29年度：20名）できたが、個別の支援を要する児童生徒が増加していることと、さらに、インクルーシブ教育の理念のもと特別支援学校を選択するのではなく、一般校の入学等を希望される保護者も増え、多様且つ専門的な対応を必要とする学校が増えてきている。</p> <p>○本年度巡回相談員派遣事業の実施が前年比4倍と、個別に特別な支援・配慮を行っていかなければならない児童生徒が急増してきている。</p>
				●																			

(2) 生涯学習に関すること

中項目	小項目	点検・評価																				
①地域全体で学校教育を支援する体制づくりの推進	学校支援地域本部事業	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; font-size: small; margin-right: 5px;">成果度↑</div> <table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td>●</td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table> <div style="margin-left: 5px;">→重要度</div> </div> <p>○本年度から新たに長岡小学校、奈路小学校、白木谷小学校で取組が始まった。また、今年度から統括コーディネーターを事務局に配置することにより、学校との連携が円滑に行えるようになった。学校・家庭・地域が連携して子どもの見守り・教育をすることで、地域・家庭の教育力を向上させ、教員が子どもに向き合う時間を確保するとともに、地域全体で学校教育を支援する仕組みの構築を目指す取組を行った。</p>					●															
					●																	
家庭教育支援基盤形成事業	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; font-size: small; margin-right: 5px;">成果度↑</div> <table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td>●</td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table> <div style="margin-left: 5px;">→重要度</div> </div> <p>○家庭の教育力向上を目的とし、安心して子育てできるように支援する事業である。「早ね早おき朝ごはん」運動などの啓発により、子どもの規則正しい生活習慣を身につけ、健康を守ることにもつながる。</p> <p>○夏休みに実施している和装礼法親子教室（大篠公民館）では、単に浴衣を着付けるだけでなく、家庭で学ぶ機会の減っている礼儀作法を親子で学べると好評である。</p> <p>○就学時健診時、新1年生の保護者を対象に、子どもの成長に必要な生活習慣づくりや、親子の関係づくりの大切さなどを知ってもらうための講話を行い、新学期を安心して迎えられるための助けになっている。</p>					●																
				●																		
②地域住民が主体的に学び楽しむ生涯学習の推進	公民館活動事業	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; font-size: small; margin-right: 5px;">成果度↑</div> <table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td>●</td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table> <div style="margin-left: 5px;">→重要度</div> </div> <p>○南国市立18公民館（17地区公民館及び中央公民館）の事業支援や施設管理を行っており、平成29年度の17地区南国市立全公民館利用者数は、延べ102,114名である。</p> <p>○公民館は、地域住民にとっての身近な生涯学習施設というだけでなく、「地域コミュニティの拠点」としてもその役割が期待されている。地区公民館では、三世代交流や文化祭、講演会や各種サークル等、それぞれの地域性が生かされた事業が行われている。</p> <p>○公民館は、災害時の避難所に指定されており、「地域の防災拠点」としての役割も担っている。平成24年度に奈路防災コミュニティセンター、平成26年度に三和防災コミュニティセンター、後免町防災コミュニティセンター、平成28年度に前浜防災コミュニティセンターを建設した。</p> <p>新規事業：中央公民館と大篠公民館を合築した中央地域交流センター（仮称）を文化的行事などが行えるホール機能を含む多目的施設として、平成33年度中に整備予定。</p>					●															
				●																		

	成人式	<p>成果度 ↓</p> <table border="1" data-bbox="882 76 1039 244"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→重要度</p>										●											<p>○新成人の新しいスタートを式典とアトラクションで祝福し、社会人としての認識を高めることを目的に、例年1月3日に式典を開催している。</p> <p>○式典に登壇する4名の成人代表者は、南国市立各中学校より選出し、記念品贈呈（受取）と20歳のメッセージ（挨拶）にご協力いただいている。来賓には、新成人の小学6年及び中学3年時の担任教師もお迎えし、貴重な交流の場となっている。</p> <p>○本年度の対象者は、学齢により、平成10年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた市民の方で、男性271名・女性243名 合計514名（平成30年12月3日住民登録数）であり、H29年度は約360名程度の出席があった。</p>
				●																			
	楽しい生きがいづくり講座	<p>成果度 ↓</p> <table border="1" data-bbox="882 435 1039 603"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>●</td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→重要度</p>									●												<p>○趣味の講座（20講座）を年間通して「NPO法人まほろばクラブ南国」に事業委託している。</p> <p>○高校・大学との連携ということで、高知東工業高校・高知高専・高知大学農林海洋科学部と共に毎年講座を実施している。</p>
			●																				
	高齢者教室事業	<p>成果度 ↓</p> <table border="1" data-bbox="882 663 1039 831"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→重要度</p>										●											<p>○65歳以上の南国市民のうち希望者を対象に、市内8教室で年10回ずつ開催している。</p> <p>○健康教室や歴史教室・環境問題・交通安全など、様々な学習をしている。移動教室等、高齢者にとって 楽しみや生きがいとなっている。</p> <p>○平成30年度は、8教室で合計567名の学級生がいる。</p>
				●																			
③人権尊重の理念の普及・高揚を図るための啓発事業の充実	人権啓発事業	<p>成果度 ↓</p> <table border="1" data-bbox="882 927 1039 1094"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→重要度</p>										●											<p>○スマイリーハート人権講座（高知県人権啓発活動委託事業） 全4回の講座の実施（10月）により啓発を図った。参加者のべ327名。アンケートによると、満足度は81.71%。（なお、うち3講座は男女共同参画の内容とした）</p> <p>○広報・人権学習シリーズ掲載 人権啓発広報委員会の委員5名が交代で執筆を担当し、人権について様々なテーマで800字程度のコラムを、広報なんこくに毎月掲載。12月号には、災害と人権について見開き2ページの人権特集を掲載した。</p> <p>○人権パネル展の開催（7月）、人権カレンダーを作成・配布（高知県人権啓発活動委託事業）</p>
				●																			

	<p>男女共同参画推進事業</p>	<p>成果度 <table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→重要度</p> </p>										●											<p>○南国市男女共同参画推進計画の一環として各事業を実施。 ○スマイリーハート人権講座（全4講座）において、3講座で男女共同参画や女性の人権の視点に立ったテーマ設定を行い、啓発に努めた。 ○市内小中学校4校において男女共同参画推進出前講座を行い、小学校では初めて触れる「男女共同参画」について、中学校では「デートDVって何？」をテーマに授業を行い、日常の中で考えるきっかけとして啓発した。 ○広報2月号には、LGBTについて見開き2ページの特集を掲載した。</p>
				●																			
	<p>市民体育大会</p>	<p>成果度 <table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→重要度</p> </p>										●											<p>○第56回市民体育大会を7/15～11/3の間、昨年より2種目多い16種目、延べ1,405名が参加して実施した。近年、生涯スポーツに対する市民の意識は高まっており、今後もスポーツの裾野を広げるために、体育協会と協働し、今後も初心者でも気軽に参加できるスポーツフェア的な大会として展開していきたい。 ○小中学生が出場できる種目もあり、広報などを通じて今後も参加を広く呼びかけることにより、成長過程にある少年競技の競技力の向上と子供たちの意欲の向上につながるよう引き続き取り組んでいく。</p>
				●																			
<p>④魅力あられる市民スポーツの振興</p>	<p>スポーツ推進委員連絡協議会等と連携したニュースポーツ及び生涯スポーツの普及・総合型スポーツクラブとの協働</p>	<p>成果度 <table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→重要度</p> </p>										●											<p>○誰もが気軽にスポーツを楽しむことができる生涯スポーツの普及と振興のため、自主事業として「さわやか健康ウォーキング大会」（10月開催 参加：24チーム89名）、「スポーツフェスティバル」（2月実施予定）を開催している。 ○総合型地域スポーツクラブ「まほろばクラブ南国」にスポーツ推進委員連絡協議会会長が理事として参加。組織としてイベントに積極的に協力している。生涯スポーツのコーディネーターであるスポーツ推進委員は、総合型クラブにおいて中心的役割を占めており、今後も情報の共有化を図る事が大切である。 ○総合型地域スポーツクラブ「まほろばクラブ南国」は、体育協会、スポーツ推進委員連絡協議会等の協力を得て、市民や地域に活動の輪を広げている。平成30年12月24日現在44サークル、会員数は989名となっている。 ○今まで別々に活動していた体育関係組織が一つのテーブルについたことで、市民の健康づくりや初心者向けスポーツ教室等のプロジェクトが大きく展開できている。今後も教育委員会との連携した取組が重要である。また、本年度より第2期高知県スポーツ推進計画ver.1の施策の柱の1つであるスポーツ参加の拡大のための地域スポーツハブの取り組みが開始した。総合型地域スポーツクラブ「まほろばクラブ南国」を核として、スポーツ関係や福祉関係団体等が連携し、スポーツに関する情報の一元化や提供などを行うことにより、ライフステージに応じたスポーツ活動を推進する。</p>
				●																			

	体育協会との連携による競技スポーツの振興と競技力の向上	成果度 <table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →重要度					●																○高知県予選を経て全国大会に挑む団体に対し、全国スポーツ大会参加補助金を助成している。選手の励みにもなるので継続的な取組は必要と考える。 ○小学生駅伝競走大会（11月10日実施）は、29チーム218名の参加申込があった。 ○南国市駅伝競走大会は2月実施予定。 ○その他、各連盟と連携して相撲大会（参加申込：14チーム58名）、市長杯南国市小学生野球大会（参加：8チーム）、高知県勤労者剣道大会（参加：54チーム）、高知県柔道大会（参加：39チーム220名）等を開催した。
				●																			
⑤地域における青少年健全育成活動	補導活動	成果度 <table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →重要度					●																○年間を通じて登校時及び下校時に各校区を巡回し、児童・生徒等への声かけを行った。 ○地域で行われる夏祭り等青少年が不特定多数集まる場所で、南国警察署、南国地区少年補導員連絡協議会と合同で巡回補導を実施した。 ○南国保護区保護司会と合同で、補導・防犯パトロールを実施した。 ○後免町タウンポリス夜間巡回パトロールへ参加し、防犯活動を行った。 ○不審者情報等があれば、随時その地域の巡回パトロールを行った。
					●																		
相談活動	成果度 <table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →重要度					●																○学校・家庭等からの不審者情報を受取り、情報の発信や南国警察署との連携に努めるとともに青色回転灯パトロールを実施した。 ○スクールガード・リーダーと連携を図りながら、児童・生徒の安全確保に努めた。	
				●																			
環境浄化活動	成果度 <table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →重要度					●																○市内に5ヶ所設置されている「白いポスト」に投函された有害図書及び有害ビデオ・DVD等の回収を行った。（有害図書234冊、有害ビデオ・DVD338点を回収）（11月末日現在） ○年間を通じてJR後免駅及び、とさでん交通後免町駅の駐輪場の整頓を行い、環境浄化に努めた。	
				●																			
調査研究活動	成果度 <table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →重要度					●																○補導教員・補導専門職員合同連絡協議会主催の研修会、高知県少年補導育成センター連絡協議会及び東部ブロック会、四国地区少年補導センター連絡協議会「香川大会」に参加し、健全育成及び非行防止について総合的に研究を深めた。	
				●																			
広報活動	成果度 <table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →重要度					●																○子ども・若者育成支援強調月間パレード（11月2日：参加者48名）、など、啓発活動を実施した。また、南国市更生保護女性会と合同で青色回転灯パトロールを実施し、下校時の子ども達の見守りを行った。 ○少年育成センター便りを発行し、青少年健全育成の啓発を呼びかけた。（3月発行）	
				●																			

	健全育成活動	成果度 <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →重要度					●																<p>○南国市青少年健全育成大会（9月1日：参加者128名）では、小学生・中学生・高校生合計14名の意見発表と1団体の善行表彰を行い、健全育成に対する理解と関心を深めた。</p> <p>○南国市子ども会連合会は、カヌー教室、ドッチビー大会、人形劇キャラバンなどを継続的に実施した。</p>
				●																			
⑥心を育む読書活動の推進、住民の求める情報の提供	図書館活動	成果度 <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →重要度					●																<p>○学習支援のための団体貸出図書配送・回収の頻度を上げて（月2回）実施した。</p> <p>○図書館システム（電算）を更新し、読書記録のためのシール発行やホームページ上で図書の表紙写真を表示するなどの機能を追加して利便性の向上に努めた。</p> <p>○絵本の読み聞かせなどの「おはなし会」を月2回開催から毎週開催に変更して実施した。また、地域子育て支援センター、保育所（園）、小学校、保育まつり、ごめんの軽トラ市等館外でも実施した。</p>
				●																			
⑦地域性豊かな市民文化の創造	美術展覧会開催	成果度 <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →重要度					●																<p>○第58回南国市美術展覧会を12/9～16に実施し、一般の部展示数188点、幼児・児童生徒の部展示数3,863点、入場者数5,286人であった。</p> <p>○展示作品に幅をもたせるために招待作品の展示案なども実行委員会で論議されるが、招待対象者や招待方法が具体的に決定できないまま、今のところ現状維持となっている。</p>
					●																		
文化財の保存、活用事業	成果度 <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →重要度					●																<p>○文化財審議委員会を開催し、将来にわたって残すべき文化財の指定を行っている。</p> <p>○市内の指定文化財を年2回パトロールして、保存状態などを確認している。</p> <p>○指定文化財を訪れた人が分かりやすいように説明看板を設置し、適宜補修をしている。</p> <p>○文化財を広く知ってもらうために広報誌への掲載や、出版物を作成して配布や販売を行っている。</p>	
				●																			
オナガドリ保護増殖事業	成果度 <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →重要度					●																<p>○国の補助事業を受け、種の保存と増殖に関わる研究や飼育者の負担を軽減するために飼料の配布事業を行っている。</p> <p>○パンフレットの作成・配布や大篠オナガドリ保存会と協力して各種イベントでの展示などを行い、啓発普及するとともに新たな飼育者の募集を行っている。</p> <p>○オナガドリの飼育と保存の労に報いるため、飼育報奨金給付している。</p> <p>○最良種の作出に寄与するため、DNAの解析成果をもとにした人工授精を行う。</p>	
				●																			

	<p>市内遺跡発掘調査等事業</p>	<p>成果度 ↓</p> <table border="1" data-bbox="882 76 1039 240"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→重要度</p>										●											<p>○各種開発行為から市内の遺跡を保護するために、情報収集、事業者との協議、試掘確認調査、工事立会などを実施している。</p> <p>○市内の重要遺跡の範囲や内容を確認し、保存と将来の史跡整備に向けての資料の蓄積を行っている。調査成果は現地説明会の開催や発掘調査報告書の作成、広報誌への掲載等により広く伝える手段を講じている。</p> <p>○史跡土佐国分寺の寺域を確認し、将来の追加指定を目指すために、県内外の有識者による土佐国分寺跡調査指導委員会を設置し、委員会に基づいて試掘確認調査を実施した。</p>
				●																			
	<p>文化財講座の開催</p>	<p>成果度 ↓</p> <table border="1" data-bbox="882 400 1039 564"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→重要度</p>										●											<p>○歴史学講座を開催し、土佐市・須崎市に関する学習の場とした。本年度は土佐の戦国高幡抗争（一条氏・津野氏そして長宗我部氏）をテーマとして開催。最終回には土佐市・須崎市にかけてのゆかりの史跡を訪ねた。参加者31名。</p> <p>○郷土学講座を開催し、文化財についての興味関心を育てるとともに、知識を得る場としている。本年度は「田村城館と長宗我部地検帳の世界」と題して講座及びフィールドワークを2月に行う。</p>
				●																			

総合評価

1. 「1 教育委員会の活動」及び「2 教育委員会が管理・執行する事務」について

- 全般的に見て、概ね取組ができています。
- 事務局と連携を図りながら、活動ができています。
- 速やかな情報提供と、事前の議案・協議事項の資料配布により、円滑な運営ができています。
- 「教育委員会と事務局との連携」について、相互の連携は密に取られており、定例教育委員会はもとより、各種会議や研修にも適宜出席することができた。我々教育委員が一年を通してスムーズに職務を遂行できたことは、教育委員会事務局のおかげである。
- 「教育委員の自己研鑽」については、土長南国地教連、高知県市町村教育委員会連合会及び高知県教育委員会の主催する研修会に積極的に参加し、情報収集できた。
- 「学校及び教育施設に対する支援・条件整備」について、まず学校訪問は、大規模校の訪問について1日1校となり、慌ただし中ではあるが、以前より時間をかけて視察できたと思う。また、各学校や幼稚園、保育園・保育所の現状が把握でき、学校経営方針（学力向上・生徒指導）・危機管理体制などの説明は十分受けられた。
- 児童生徒の安全面で、ブロック塀の地震対策が、本年度中になされたこと。素早い決断と実行力は素晴らしい。（市長の決断）
- 全小中学校にエアコン設置完了、学びやすい環境づくりは評価すべきである。
- 各小中学校で行われた運動会・体育祭や研究発表会に参加して、学校訪問時には見られない教職員や児童・生徒の実態が見られ、運動会・体育祭や研究発表会での成果や課題をそれぞれ把握できた。
- 「学齢児童生徒の就学すべき学校の区域を設定し、又はこれを変更すること」について、『大篠小学校隣接校選択制度』は県内一のマンモス校となった大篠小学校における当面の対策としては最善の方策であると思うし、一定の成果は出ていると思う。年々効果も出てきている。ただし、児童数の増大は将来にわたって検討が必要な課題であり、課題を解決する中で「交通手段の整備」も必要であると考え、整備されれば、より効果も出ると考えられる。
- 子どもの貧困連鎖を断ち切るための教育支援策の充実が必要になってきているのではないだろうか。（高校中退、大学や専修大学進学率の実態、ひとり親家庭のこどもの居場所や生活実態等調査し、改善していくための具体的方策、計画を作成していく必要がある。）

2. 「3 教育委員会が管理執行を教育長に委任する事務」について

(1) 就学前の保育・教育、学校教育に関すること

① 就学前の保育・教育について

- 全体的に概ね良好であり、取組ができています。
- 地域に愛される幼稚園・保育園・保育所づくりが推進され、「保幼小接続期実践プラン」により、保幼小の連携の在り方についても取組が進んだと思う。
- 多様化する保護者のニーズへの対応や、特別な配慮・支援の必要な幼児への対応も適切にできています。
- 保幼小連携プログラムの取組については、成果が見られる。今後も、一人ひとりの子どもに合った、切れ目のない支援の充実を図っていく必要がある。
- 保幼小の連携はできているように思うが、小学校6年間、毎年担任やクラスが変わる中での引継ぎ、連携はどうか。1年ごとに情報がリセットされており、毎年新しい担任に同じ話をしないといけないような状況がないか、点検が必要と考える。長い小学校6年間においても、切れ目のない支援の充実について考えていく必要があると感じる。また、「統合型校務支援システム」の導入により、情報共有に役立つよう努めてほしい。

②学校教育について

- 全般的に概ね取組ができています。特に、学力向上、体力向上では長年の成果が実りつつある。
- 教職員の世代交代が急激に進んできた。今まで構築してきたそれぞれの学校の指導体制が揺らぐことなく、さらに発展、進化していけるよう支援していく必要がある。そのためには、学力課題対応アドバイザーや支援員等の配置も今が大切である。新採教員が意欲的、積極的に取り組める体制づくりが急がれる。(委員会としても学期末に新採教員一人ひとりに面談を行い、悩みなどを聞く機会を設定してみてもどうか。今の若者は、心が折れやすい傾向があると思うので)
- 特別な支援を要する児童・生徒の増加への対応では、合理的配慮コーディネーターや医療的ケアコーディネーター等の配置も行い、効果をあげてきている。しかし、教職員に、「すべての幼児児童生徒に対しての特別支援教育」の認識がまだまだ低いと思われる。共生社会の実現に向けたインクルーシブ教育システムの確立が急がれると同時に、合理的配慮についても各校で研修等行っていく必要がある。
- 不登校児童・生徒が増加傾向にある。SCやSSW、不登校支援員等も増員し、ふれあい教室、教育研究所とも連携を図りながら対応はしてきているが、増加傾向に歯止めがかからないのが現実。専門機関の指導も仰ぎながら、粘り強く取り組んでいかなければならない。
- また、不登校や発達課題を抱える児童生徒の問題については、スウェーデンのギルバーク教授の提唱された『ESSENCE』の考え方を取り入れてみることも一つの方法と考えられる。また、高知県立療育福祉センターには、これに関する知見をもつ部署があるようですし、高知大学医学部 教授やJA高知病院 本淨Dr.。さらには、保健福祉センターも含めた保健師とも連携しながら、市教委と教職員も、子どもたちの児童期に発現する兆候を見る視点として、大切であると考えます。
- 各校、幼稚園・保育園・保育所での行事による地域に根ざした活動はもとより、「開かれた学校づくり推進委員会」を設置し、地域に開かれた学校づくりが推進できた。
- PDCAサイクルの確立の推進により、学校評価の向上には一定の成果はあった。
- 小中連携学力向上プロジェクト事業や、各拠点校事業により、ブロックごとの児童生徒の課題を明らかにして、小中連携による学力向上や生徒指導の充実を図ることができた。
- 全国学力・学習状況調査では、「国語科」に課題を残したが、学力の向上に成果があった。
- 様々な研究指定やブロック事業は、それぞれの事業の成果を教育委員会で評価するだけでなく、公開授業があれば、地域や保護者の方々にもより広く告知をして、もっと多くの方に参観してもらい、取組の内容や成果が解りやすく理解してもらえるような取組が必要である。
- 小中学校が連携した、安心して安全な学校づくりを推進するために、Q-Uアンケートの活用や引継ぎシートの活用など、積極的な生徒指導への取組が行われた。
- スクールソーシャルワーカーの配置により、学校だけでは十分対応できない児童生徒に対する支援を行うことができた。
- 「実践的防災教育推進事業」は、大湊小学校、三和小学校、稲生小学校、奈路小学校、白木谷小学校に続き、H29・30は久礼田小学校、H30からは後免野田小学校が指定を受けて取り組んでいる。防災意識の向上と、災害発生時に対する実践的な対応への取組ができた。
- 合理的配慮コーディネーター、医療的ケアコーディネーターが配置され、その取組と成果は大きかったと評価できる。今後も、それぞれの子どもに合った支援の充実を望む。
- 教職員対象の「ゲートキーパー養成研修」を年3回行うことにより、学校現場で行う自殺予防教育について考えたり、教職員一人ひとりがゲートキーパーとしての自覚を持ち、「自殺のサイン」や「傾聴の方法」について、実践も含め具体的に学んだりすることができた。今後地域とともに南国市を挙げて、子どもの命を守る取組に努め、効果が上がることを期待する。また、子どもの命を守るためにも、教員の働き方改革は急務である。教員の心に余裕がなければ、ゲートキーパーの役割は果たせない。
- ふれあい教室の目的・活動内容を広く周知するためのリーフレットを作成することにより、認知度が低かった施設への理解が広まり、必要な児童生徒・保護者への支援の手が伸びることを期待する。

(2) 生涯学習に関すること

①各事業の推進について

- 各事業の推進は、概ね取組ができています。
- 国分寺の遺跡発掘調査が広範囲に行われ、少しずつではあるが建立当時のイメージがはっきりしてきたのは、価値あることだ。これからもさらなる発掘調査を期待する。
- 「学校支援地域本部事業」は、学校・家庭・地域の連携により、地域に根ざした学校づくりや、地域全体で学校教育を支援する仕組みの構築に成果があった。
- 「公民館活動事業」は、地域の防災拠点という観点から、奈路、三和、後免町、前浜に建設された各防災コミュニティセンターの活用により、防災や地域活動の充実に成果が上がってきている。
- 様々な取組により、各事業の推進が図られている。

②取組の状況について

- 全国スポーツ大会参加助成金制度は素晴らしい制度だと思う。
- 「スポーツ推進委員連絡協議会等と連携したニュースポーツ及び生涯スポーツの普及・総合型スポーツクラブの育成」は、市民や地域に活動の輪を広げている意味での評価はもちろん、必ずしも高いとは言えない基礎体力の本市児童生徒のためにも「まほろばクラブ南国」の取組は、大いに評価できる。
- 「まほろばクラブ南国」の活動には、南国市を挙げて支援をしていく必要がある。
- 図書館活動において、絵本の楽しさを伝える「読み聞かせ活動」を積極的に図書館内外で行っていることは、評価できる。親子の絆をつくる良い機会にもなる「読み聞かせ」の、さらなる普及に期待する。
- 学校の読み聞かせボランティアも図書館をよく活用していることから、「読み聞かせ講座」や「大人向けの絵本を楽しむ講座」など、新しい取組も必要である。親子のコミュニケーションのきっかけになったり、心の安定にも繋がったりするため、効果は大きいと考える。

3. その他

• 働き方改革について

①統合型校務支援システムの導入により、教員の働き方改革につなげる努力を行っていくことが必要である。

②中学校クラブ活動における社会人活用について、現在12月より香長中学校男子バスケットボール部に対して、「運動部活動指導員（大会の引率も可能）」を1名配置されている。教員の働き方改革も含め、今後南国市内中学校に広げていく必要がある。

- 特別な支援・配慮を要する児童・生徒の急増に対し、早急な特別支援教育支援員の増員が必要である。
- 各学校で取り組んでいる避難訓練や、防災に関する公開授業は、地元消防団と連携したり南国市防災士連絡会などの協力を得て実施したり、保護者や地域住民の皆さんに参加してもらえるような取組も必要である。
- 就学前教育について、就学前教育・保育の質の向上を目指した取組の充実・発展は、「子育て支援課」と「学校教育課」で協働した取組以外ありません。来年度は教育振興基本計画を新たなものにする年度であることから、取組内容は勿論のこと、体制や人員配置も併せて考えていかなければ停滞どころか後退してしまう。是非とも市長はじめ市長部局と、現状の情報共有並びに計画を、より実行しやすい効果的な体制作りを進めてほしい。
- 全国スポーツ大会参加助成金制度は対象が団体のみなので、個人種目に対しても検討が必要である。